

名 称	第9回 函館市医療・介護連携多職種研修会
目 的	<ul style="list-style-type: none"> ・その方らしい生き方を実現していくため、加齢や疾病による影響から心身の状態が変化していく本人の不安や葛藤などに寄り添い、もしもの時に本人の想いを見逃さないように、支援に関わる一人ひとりが意識していけることを目的とする。
目 標	<ul style="list-style-type: none"> ・もしもの時のために本人の想いをどのようなタイミングや方法で聞き取りすると良いのかを考える。 ・もしもノートを活用しながらACPを行う際の留意点などを知る。 ・本人の想いを叶える支援の実現を目指し、医療・介護関係者が情報共有していく必要性を考える。
共 催	函館市（函館市医療・介護連携推進協議会） 函館市医師会 （函館市医療・介護連携支援センター、ほくと・ななえ 医療・介護連携支援センター）
日 程	令和6年10月19日（土） 14：00～17：00（13：30～受付開始） ※研修終了後、関係多職種間の「顔の見える関係づくり」や率直な意見交換を目的とした懇親会を予定 （懇親会は状況により中止となる場合もございます）
会 場	函館国際ホテル 天平の間 （住所：函館市大手町5-10 電話：23-5151）
テ ー マ	「地域でつなげようACPの輪～この地域でのACP連携を目指して～」
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演 （座長）北美原クリニック 岡田 晋吾 先生 （登壇者） 【ACPとは】 函館稜北病院 副院長 総合診療科科長 川口 篤也 先生 【もしもノートについて】 市立函館病院 緩和ケア科科長 山崎 裕 先生 【はこだて医療・介護連携サマリーと併せた活用法・事例】 訪問看護ステーションフレンズ 統括所長 保坂 明美 様 ・ グループワーク【もしもノートに関する意見交換】 （進行）函館市地域包括支援センターたかおか 施設長 松野 陽 様 ・ 意見交換・質疑応答 （座長）北美原クリニック 岡田 晋吾 先生 ・ 情報共有ツール作業部会からのお知らせ （情報共有ツール作業部会長）函館中央病院 事務次長 亀谷 博志 様
参加対象	函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関係者
参加人数	300名（グループワーク参加240名，聴講のみ60名） ※定員になり次第，締め切らせていただきますので，お早めにお申込みください。
参加費用	無料（懇親会参加費用は別途掛かります ※金額は4,000円程度）
備 考	アンケート実施